# もり



第14号 平成20年5月

森林教室in関内小学校

にある樹木のことについて学習しました。 う」ということをテーマに森林教室を実施し、校庭 学習の時間の一環として、「学校周辺の木を知ろ 五月二十一日、関内小学校において、総合的な

ぐに探し出して取るので、その取り手の素早さに驚 の上に木の葉をバラバラに置き、それを取り合う 象に校庭で行いました。まず、地面に広げたシート ·木の葉カルタ」ではこちらが提示した木の葉をす 関内小の児童一年生から四年生までの五名を対

クイズを出題し、 ら、樹木に関する 木を説明しなが んでいました。樹 当て、元気よく 真っ先に木を探し てクイズ」では、 を当てる「樹木当 庭内にある樹木 た、木の葉から校 かされました。ま 見つけた!」と叫



りやキハダの樹皮の 聞くと、「へえ~」と との関係の話などを サクラの蜜腺とアリ 色や味を体験したり たり、クロモジの香 された花や葉に驚い どを観察すると拡大 他にも、ルーペで花な うなずいていました。 イチイの雌雄の話や

しました。

習の場となりま るだけではなく、樹 ました。名前を覚え ことを知り、知られ 木に関する楽しい学 様々な質問が出てき を知り、児童からも ていない意外な一面 な樹木があるという 学校内にはいろいろ



#### 八雲町植樹祭

3

般町民約百十名が参加され、共に汗を流しました。 て、植樹祭が開催されました。関係機関の方や一 五月二十三日、八雲町黒岩地区の町有林におい

されています。 保水力が大きいと 布し、巨木になり、 は黒松内以南に分 は「ブナ」です。ブナ た。植えられた木 haのところに540 この日は面積0.2 本が植えられまし

とを願い、一本一本 林になってくれるこ 物を育む豊かな森 やがて多くの生き の日か大きくなり えたブナの木がいつ できます。この日植 境につなげることが り、将来の地球環 収することにもな は二酸化炭素を吸 木を植えること



大切に植えました。

# もり



第15号 平<u>成20年10</u>月

住所 <u>発</u>行

檜山森林管理署熊石森林事 | 1391 | 一海郡八雲町熊石雲石町180-||海郡八雲町熊石雲石町180-1 3 9 8 2 | 3 | 0 | 5 3

り除き、丈夫な実をみんなで選別しました。

裏にまきました。きっと来年になれば芽が出て、児

その後、ブナやコナラのドングリも一緒に学校の

### ドングリをまきました 関内小学校

ておいてもらったものを使いました。 たちがあらかじめ拾っておいて、ニ~三日水につけ くことを目的に授業を行いました。ドングリは児童 十月十六日、関内小学校において、ドングリをま

ラは熊石ではあま た。ブナの実は三角形をしており、毛で覆われた殻 やコナラのドングリを見せ、その違いを観察しまし 斗(ドングリでいうところの帽子)があります。コナ よく見かけるミズナラのドングリの他に、ブナの実 口にドングリといってもいろいろあり、ふだん

「チョッキリ」という のがあります。こ い形をしています。 り見かけませんが 虫が空けたもので れは「ゾウムシ」や 穴が空いているも よく見ると小さな し小さく、先が丸 ミズナラよりも少 また、どんぐりを



かくて青い時期に小さな穴を空けて卵を産み付け す。これらの虫はドングリの実がまだ小さく、柔ら

いている穴は出てき た穴で、ドングリの殻 るのです。つまり、空 ら穴を空けて出てく 成長し、十分に大き リの実を食べながら 大きくなったドング ます。それが孵化し、 をむいてみると中に くなったところで中か



いたりするものを取 かったり、穴が空いて ます。そこでまく前に まだ使うことができ 害がひどくなけれ に死んでいるので、 けておいたものはすで めいています。水につ まだ小さな虫がうご 水に浮くものや、小さ

## 植林をおこないました

した。これらの苗木は数 もの苗木が植えられま ので、合計19,050本 たり3,000本植えた た木はトドマツで ha当 で6°34haです。植え 三箇所あり、面積は全部 所は雲石峠や平田内で に植林を行いました。場 十月に熊石の国有林





とでしょう。 童たちを見守るような大きな木に成長していくこ

発揮できるようになり とで森林の機能をより きちんと管理を行うこ 暖化防止に大いに役立ち れます。そのため地球温 酸化炭素を吸収してく する中で、たくさんの二 十年かけて大きく成長